

地域における野生鳥獣被害対策の成果と今後の取組について

対策チーム名： 上小野生鳥獣被害対策チーム

■タイトル (27 年度) 露地ぶどうにおけるカラス被害防止対策

■地域名 東御市和地区

■内容概要

1 地域の概要

集落戸数		加害鳥獣	被害農作物等	備考
	うち農家			
2,348	547	カラス	ぶどう（食害及び食い荒らし）	

2 取組の概要

区 分	内 容
経 過	<p>上小地域では、鳥類による農作物被害が増えていて、その中でもぶどうのカラスによる食害等の被害が大きな問題となっていた。</p> <p>今までも、効果的なカラス対策として防鳥網がありましたが、Aマストが多い上小地域では、コストや設置コストの面から普及はしていませんでした。</p> <p>そこで、今回山梨県で開発された極細黒色ステンレスワイヤーを張ることにより、カラスの侵入を防ぐ効果を確認した。</p>
取組内容	<p>【施設の設置方法】</p> <p>カラス防止ワイヤーをブドウ棚の既存ワイヤーに沿って、ぶどう棚面上約 100cm の所に 2.5m 間隔で格子状に設置するもの。</p> <p>カラス防止ワイヤーは、ブドウ棚角柱に長さ 3m のダンポール（直径 10mm）をくくり付け、そのダンポール上部に S パッカーでワイヤーを固定して設置をした。</p> <p>ステンレスワイヤーの特徴</p> <p>カラス防止ワイヤーは、極細ステンレス線（0.3mm）で、つや消し黒とすることでカラスに見えづらくし、ワイヤーへの衝突を誘発させてカラスが圃場に侵入する際、羽や体にワイヤーが触れると、危険を感じてそのほ場から直ちに逃げ出す性質を利用したもの。</p> <p>【被害の確認方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーカメラを 8 月 11 日～10 月 14 日まで設置し、毎週 SD カードを交換し、カラスの侵入状況を確認した。 ・カラス防止ワイヤー未設置区については、カラスによる被害粒の目視による確認を行った。
成 果	カラス防止ワイヤー設置区は、未設置区と比べ被害は、まったくなかった。
農家等の方からのコメント	カラスの食害にあったぶどうの片づけや袋掛けのことを考えれば被害がなくなる施設の設置は、必要で、施設の設置費用についても長期的に考える必要がある。

3 課題と今後の取組

カラスハイレマ線を活用したカラス被害防止効果の普及啓発

- ・施設の設置は、1 人では難しいことから、設置に当って、数人で設置する体制づくり
- ・設置に当っての指導體制の構築
- ・カラス被害が多い園では、カラスハイレマ線だけに頼るのではなく、地域ぐるみで花火等での追い払い
- ・融資・補助も含め費用負担の検討

4 活動状況



試験区のブドウ園の近況
傍の電線からカラスが飛来する



試験区のブドウ園の結実の状況



防除資材（つや消しされたステンレス線）線径0.3mmと3mの弾性ポール



作業内容の説明



弾性ポールへステンレス線を固定する



ぶどう棚の上1mの所に、2.5mの格子状にステンレス線を張っていく